

電動 2 穴パンチ

MODEL PN-50E

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、電動2穴パンチ PN-50E をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。



もくじ	
表紙	1
安全上のご注意	2, 3
各部のなまえ	4
仕様	4
ご使用前の確認と準備	5
ご使用方法	6
パンチカスの捨て方	7
刃受の交換方法	7
パイプ刃の交換方法	8
故障と思う前に	9
保障について	12
その他	12

安全上のご注意

この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■表示の説明



警告

この表示は「人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示は「人が傷害を負う可能性が想定される内容や、物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告



危険な可動部が動作中のときは、絶対に指や体を近づけないでください。
けがのおそれがあります。



分解や改造をしないでください。けがや感電のおそれがあります。



濡れた手で電源プラグ・電源コネクタの抜き差しをしないでください。
感電のおそれがあります。



電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり
しないでください。また、傷んだ電源コードは使用しないでください。
火災や感電のおそれがあります。



電源プラグ・電源コネクタは根元まで確実に差し込んでください。
火災や感電のおそれがあります。



本体が異常に発熱したり、煙が出たり、変な臭いがするなど異常な状態のときは、すぐに本体の
電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いて修理に出してください。
そのまま使用すると、火災や感電のおそれがあります。



異物（金属片・液体など）が本体内部に入った場合は、すぐに電源スイッチをOFFにし、
電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災や感電のおそれがあります。



穴あけは必ず2穴で使用してください。片側で使用すると故障の原因となります。

注 意



パイプ刃の下には絶対に手を入れないでください。けがの原因となることがあります。



パイプ刃の交換は、必ず取扱説明書の手順にしたがって行なってください。
故障やけがの原因となることがあります。



用紙の端、ギリギリの位置で穴あけしないでください。パイプ刃が破損する原因となります。



必ず、仕様の最大枚数（PPC用紙64g/m²:550枚）以下で使用してください。
無理に最大枚数以上で使用すると、故障の原因となることがあります。



紙以外のもの（プラスチック・ビニール・金属・革・木材・衣類等）は、
絶対に穴あけしないでください。
故障やけがの原因となることがあります。



コート紙など表面にビニールがコーティングされている樹脂系の用紙は、穴あけしないでください。
パンチカスが詰まり、故障の原因となることがあります。



すでに穴があいている用紙は、必ず取り除いてから使用してください。
重複して穴あけするとパイプ刃の中にパンチカスが詰まり、故障の原因となることがあります。



穴あけの途中で、異常な摩擦音が発生した場合は、すぐに本体の電源をOFFにし、
修理に出してください。そのまま使用すると、故障の原因となることがあります。



ぐらついたり、傾いたりしている不安定な場所には設置をしないでください。
落ちたり倒れたりして、故障やけがの原因となることがあります。



お子さまの使用は絶対におやめください。けがをするおそれがあります。
必ず、お子さまの手が届かない場所に保管してください。



パンチカスは定期的に捨ててください。（地域のゴミ捨て規則にしたがってください）
パンチカスを捨てずに使用を続けると、故障の原因となります。



パイプ刃が破損してしまった場合は、必ずラジオペンチなどを使用して取り除いてください。
素手で触ると、けがの原因となることがあります。



電源プラグ・電源コネクタを抜き差しするときは、コードを持たずに
プラグ・コネクタを持って行ってください。
電源コードが損傷し、火災や感電の原因となることがあります。

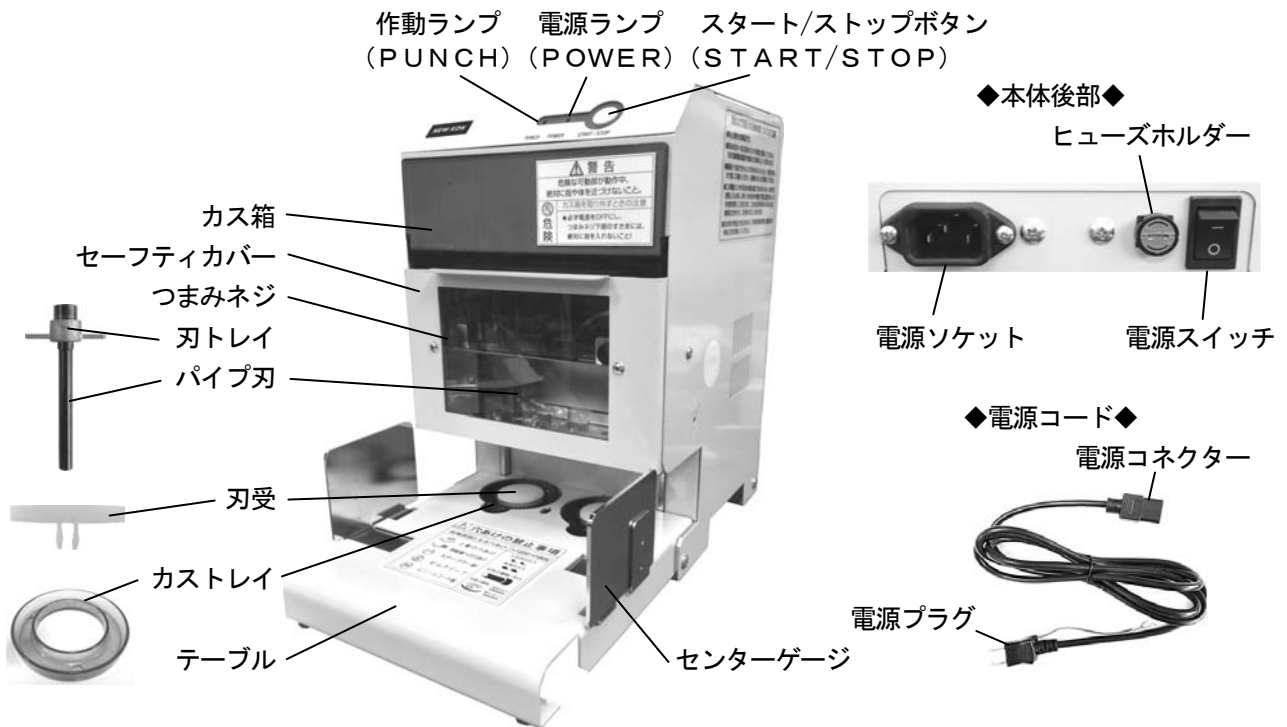


ご使用前に、必ず電源プラグのアース線（接地接続）を取り付けてから使用してください。
アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。
また、アース接続を外す場合は、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。



長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

各部のなまえ



仕様

製品名	電動2穴パンチ
製品型番	PN-50E
穴径	6.0mm
穴数	2穴
穴ピッチ	80mm±0.5
穴あけ能力	約550枚 (コピー紙64g/m ²)
最大奥行き	12mm±0.5 ※注
対应用紙サイズ	コピー紙 A5短辺~A4長辺 ※注
本体寸法	W180mm×D330mm×287mm (テーブル含む)
重量	約13.5kg (テーブル含む)
定格電圧・周波数	AC100V・50/60Hz
定格消費電力	400W
定格電流	3A
定格時間	30分
ヒューズ	5A 125V

※注：製品の構造上、用紙の幅が125mm以下では、最大奥行きが19mmとなります。

■付属品

パイプ刃	2本	電源コード	1本
刃トレイ	2個	管形ヒューズ (5A 125V)	1本
刃受	2枚		
テーブル	1個	取扱説明書	1部
カストレイ	2個	保証書	1枚

※パイプ刃・刃トレイ・刃受は、本体にセット済みです。

■消耗品

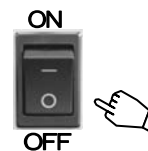
替刃	PN-50E/HP	1箱 2本入
刃受	PN-27E50E/PB	1箱 10枚入

※別売りです。

※保障期間内でも、有料となります。

ご使用前の確認と準備

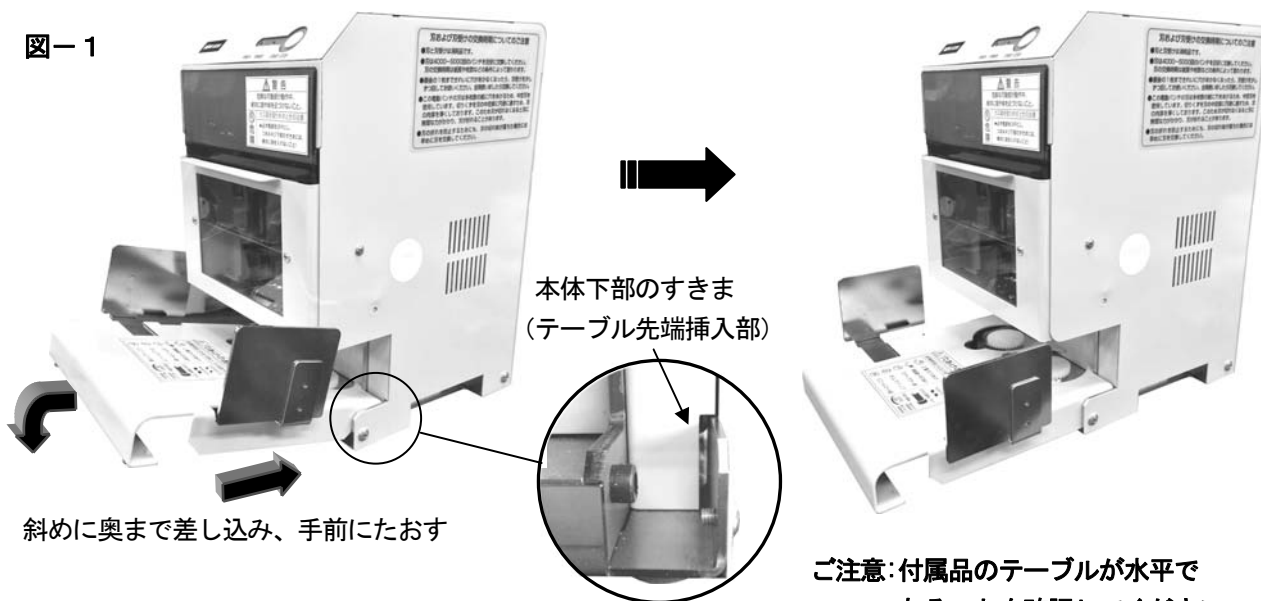
- 付属品がすべて揃っているか、必ずご確認ください。
- 本体後部にある電源スイッチが、必ずOFFになっていることを確認してください。
- 本体の設置場所は、必ず水平でしっかりとした、安定している台(机)に設置してください。



注意：本体の重さに耐えられず、歪んだり凹んだりして、水平が保てない台(机)には絶対に設置しないでください。

■テーブルとカストレイの取り付け

1. 付属品の中から、テーブルとカストレイをご用意ください。
 2. テーブルの先端部を、本体下部のすきまに合わせて斜めに奥まで押し込みます。(図-1)
 3. そのままゆっくり手前にたおしてください。
 4. カストレイをテーブル奥の穴に合わせてはめ込んでください。(図-2)
- ※テーブルが奥まで差し込まれていないと、カストレイがセットできません。(図-3)

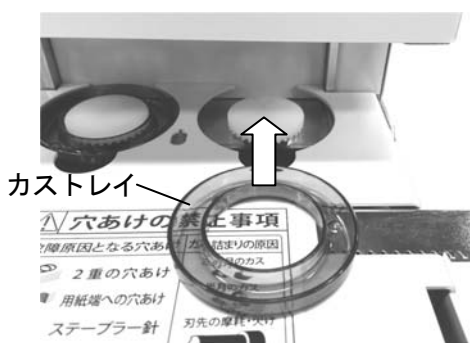


斜めに奥まで差し込み、手前にたおす

本体下部のすきま
(テーブル先端挿入部)

ご注意：付属品のテーブルが水平であることを確認してください。手前が浮いて斜めになると、カス箱が取り出せません。

図-2



カストレイ

図-3

テーブル・カストレイが正常にセットされている状態

正常にセットされていない状態



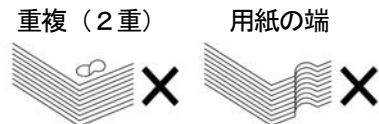
■電源コードの取り付け

1. 付属品の中から、電源コードを1本ご用意ください。
ご使用前に、必ず電源プラグのアース線(接地接続)を取り付けてから使用してください。
アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。
また、アース接続を外す場合は、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。
2. 電源コネクターを本体後部の電源ソケットにしっかりと差し込んでください。
3. 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

ご使用方法

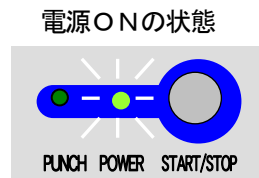
⚠ 穴あけ前の注意と確認

- 片側での使用は絶対にしないでください。
- 紙以外のものは絶対に穴あけしないでください。
- 一度パンチした穴や用紙の端には、絶対に穴あけをしないでください。
- クリップ・ステープラー針などの金属類・その他の異物は、必ず取り除いてください。
- パイプ刃の下側に、手(指)を入れないでください。

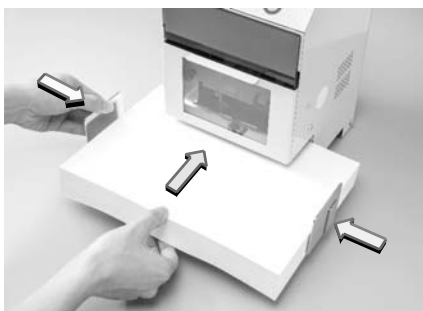
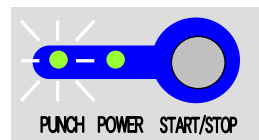


■穴あけ操作方法

- 電源スイッチをONにしてください。
電源ランプ (POWER) が点灯します。
- 穴あけする用紙をきちんと揃えてください。
- 用紙をテーブルにのせ、奥までしっかり突き当ててください。
- センターゲージで、用紙をテーブル中央に揃えてください。
※セーフティカバー下部の「▼」はセンターの目安です。
※注：製品の構造上、用紙の幅が125mm以下では、最大奥行きが19mmとなります。
- セーフティカバーを用紙に当たるまでしっかり押し下げてください。
作動ランプ (PUNCH) が点灯します。
※セーフティカバーを用紙に当たるまで押し下げないと、安全のため穴あけ操作ができないようになっていきますので、セーフティカバーをしっかりと押し下げ、作動ランプの点灯を確認してから次の操作を行ってください。
※穴あけ前に、用紙がきちんと揃っているか必ず確認してください。
- スタートボタンを押してください。穴あけ中は、作動ランプが点滅します。



用紙検知した状態



- 穴あけが完了したら、セーフティカバーを上げてください。
- 用紙を取り出して、穴あけ操作終了です。
※少ない枚数を穴あけした場合、刃先からパンチカスがこぼれます。小型パンチの併用をおすすめします。

●途中停止

穴あけ作動中にスタートボタンを押すと停止し、作動ランプが点滅します。
再度、スタートボタンを押し、作動ランプの点滅が消えてから手を離すと、スタート位置に戻ります。

●異常停止

穴あけ作動中に異常が発生し、停止した場合は、数秒後に自動でスタート位置に戻り、作動ランプが点滅します。
戻らない場合は、電源を入れ直してください。
電源の入れ直しで戻らない場合は、お問い合わせください。
※お問い合わせ・連絡先・・・12ページ参照

! ご使用後は、必ず電源スイッチをOFFにしてください。

◆各操作・動作状態でのランプ表示◆
(ランプ表示：○消灯・●点灯)

操作・動作	PUNCH	POWER
電源ON	○●○ 1回点滅	●
用紙未検知	○ 消灯	●
用紙検知	● 点灯	●
作動(下降)	●○●○ 点滅	●
作動(上昇)	● 点灯	●
カス箱なし	●○●○ 2回点滅	●
停止(手動)	●○●○ 点滅(速)	●
停止(異常)	●○●○ 点滅(速)	●
電源OFF	○	○

パンチカスの捨て方

❗ 本体後部にある電源スイッチが、必ずOFFになっていることを確認してください。



■カス箱

1. 用紙を取り除き、セーフティカバーを下げてください。

⊘ つまみネジ下部のすきまには、絶対に指を入れしないでください。

2. つまみネジを2カ所ゆるめて、手前に少し引き出してください。(A)

3. カス箱の両端を持ち、取り出してください。(B)

⊘ パイプ刃の先端は、鋭い刃になっています。絶対に直接手(指)で刃先に触れないでください。

⊘ 穴あけ直後のパイプ刃、周辺部の金属部品は若干熱くなっていますので、絶対に触らないでください。

4. カス箱のフタを開けて、取り外してください。(C)

5. パンチカスを捨ててください。(D)

6. カス箱のフタを取り付けて、閉めてください。(E)

7. カス箱をセーフティカバーの取っ手部分に置き、そのまま奥までまっすぐ押し入れてください。(B)

8. つまみネジを2カ所しっかりと締め付けてください。

9. セーフティカバーを上げてください。

注：付属品のテーブルが水平でない場合
セーフティカバーが下まで下がらず
カス箱が取り出せません。
テーブルを確認してください。

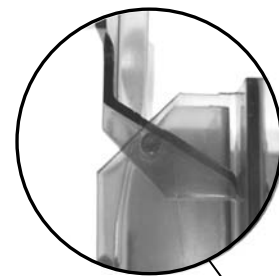
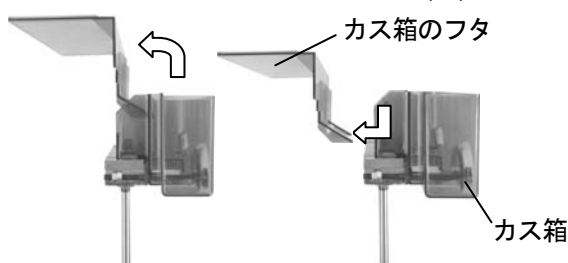
(A)

(B)

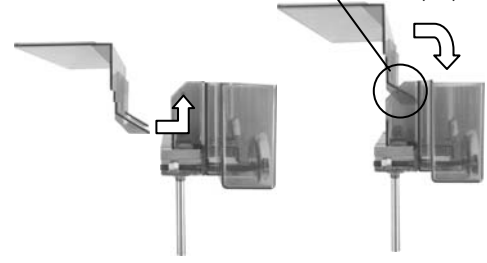


(C)

(D)



(E)



■カストレイ

1. カストレイを取り外し、パンチカスを捨ててください。

2. カストレイを戻してください。

※パンチカスは、満杯になる前に捨ててください。



刃受の交換方法

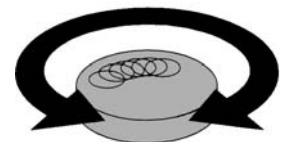
● 刃受は1箇所30～50回を目安に少しずつ回転させてください。

1箇所ですべて使用すると、きれいに穴あけできなくなったり、切れ残りが発生することがあります。

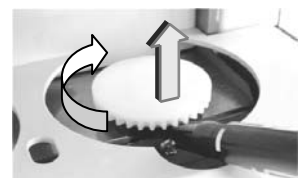
● 刃受は、刃跡が1周して凹凸がひどくなったり、用紙が切れ残るようになったら交換してください。

● 刃受を回転・交換(取り外し)するときは、右図のように筆記用具などの細い棒状の物で行ってください。

⊘ 刃受の回転・交換(取り外し)は、直接手(指)を入れて行わないでください。



刃受の回転・取り外し



パイプ刃の交換方法

■パイプ刃交換の目安

下記のような症状がでた場合は、早めに左右共に交換してください。
交換せずに使い続けると、パイプ刃が破損することがあります。

- 用紙が切れ残る、あけた穴が毛羽立つ等、きれいに穴があかなくなった
- 刃受を回転・交換しても、最後の1枚まできれいに穴あけできない
- 穴あけ途中で停止した

1. カス箱を取り外してください。

※カス箱の取り外し方法・・・7ページ「パンチカスの捨て方」参照

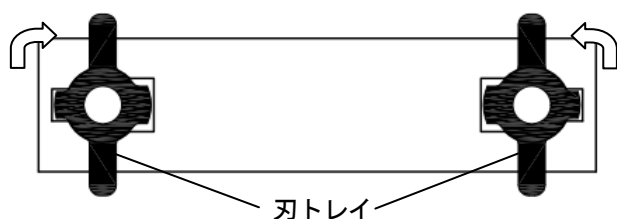
2. 右図のように、カス箱の前面を下にして置いてください。

カス箱の前面を下にして置いた状態



⊘ **危険ですので、カス箱を持ったまま操作しないでください。**

3. 刃トレイを下図のように矢印の方向へ90度回転させてください。 ※逆には回しません。



4. パイプ刃と刃トレイを引き抜いてください。

※パンチカスがこぼれることがあります。

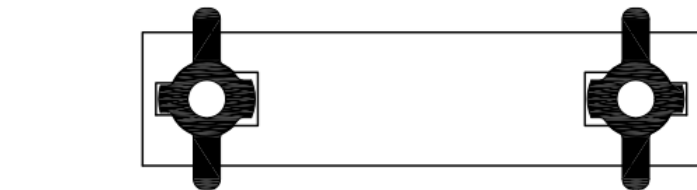
5. 刃トレイからパイプ刃を抜き、新しいパイプ刃を刃トレイにセットしてください。

6. パイプ刃・刃トレイ取り付け部分のパンチカスを取り除いてください。

※パンチカスが残っていると、パイプ刃・刃トレイの取り付けができません。

7. パイプ刃と刃トレイを下図の向きでセットしてください。

※刃トレイ爪の幅と、溝の幅を合わせてセットしてください。



8. 刃トレイを下図のように矢印の方向へ90度回転させてください。 ※逆には回しません。



9. カス箱を取り付けてください。

※カス箱の取り付け方法・・・7ページ「パンチカスの捨て方」参照

故障と思う前に

- 使用中に故障かな？と思われる症状が起きたら、この表を参考にご確認ください。
- この表に書かれていない症状が発生した場合や、対処方法を行っても症状が解消されないときは、お問い合わせになった販売店、またはメーカーにご相談ください。

症 状	確 認	対処方法	注 意
a. 電源スイッチをONにしても、電源ランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> ①電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？ ②電源コネクターが正しく電源ソケットに入っていますか？ ③ヒューズが切れていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ①電源プラグをしっかりとコンセントに差し込んでください。 ②電源コネクターをしっかりと電源ソケットに差し込んでください。 ③ヒューズを交換してください。 ※一般市販品の標準ヒューズ5A。 	<ul style="list-style-type: none"> ①標準規格の接続タップを使用してください。 ②タコ足配線をしないでください。 ③100V以外では使用しないでください。
b. スタートボタンを押しても作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ①作動ランプが消灯していませんか？ ②作動ランプが点滅していませんか？ (2回点滅の繰り返し・・・6ページ参照) ③作動ランプが点滅していませんか？ (消灯、点灯の繰り返し・・・6ページ参照) ④幅の狭い用紙を片側1穴で穴あけしようとしていませんか？ ⑤連続で長時間使用しましたか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ①セーフティカバーをしっかりと押し下げ、作動ランプの点灯を確認してください。・・・6ページ参照 ②カス箱を一度取り外し、付け直してください。 ③電源を一度OFFにして再度電源をONにしてください。 ④必ず2穴で使用してください。 ⑤電源をOFFにし、しばらくしてから使用してください。 ※15分ほど放置し、冷してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ①セーフティカバーをしっかりと下げないと安全のため作動しません。 ②カス箱がしっかりとセットされていないと安全のため作動しません。 ③不要な用紙を数枚入れてテスト作動を行ってください。 ④1穴で使用すると故障の原因となります。 ⑤過熱防止機能が働き、一時使用できなくなります。
c. 電源スイッチをONにした直後に作動した。	<ul style="list-style-type: none"> ①作動途中で電源をOFFにしましたか？ 停電等で電源がOFFになりましたか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ①電源スイッチをONにすると自動復帰機能により、スタート位置に自動で戻ります。 ※故障ではありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ①作動途中で電源をOFFにしないでください。
d. 穴が最後まであかない。 ※用紙数枚抜け残る程度。	<ul style="list-style-type: none"> ①刃受けの穴あけ跡が深く凹んでいませんか？ ②パイプ刃が消耗・変形・破損していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ①刃受けを回転させてください。 ※穴あけ跡が1周したら必ず交換してください。 ②パイプ刃を交換してください。 ※必ず左右2本一緒に交換してください。 <p>★対処後、不要な用紙を数枚入れてテスト作動を行ってください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①1箇所でも使い続けしないでください。 回転させるときは、刃跡が重ならないように回してください。 ②必ず交換してください。
e. 穴が最後まであかない。 穴あけ途中で停止して異常音がしばらく続いた後に、スタート位置に戻ってしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ①紙以外のものを穴あけしていませんか？ ②用紙の中に元々穴があいている用紙がありませんでしたか？ ③用紙にホッチキスの針が付いていましたか？ ④パイプ刃が消耗・変形・破損していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ①～④パイプ刃を交換してください。 ※必ず左右2本一緒に交換してください。 <p>★対処後、不要な用紙を数枚入れてテスト作動を行ってください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①紙以外のものは絶対に穴あけしないでください。 ※プラスチック・ビニール 金属・革・木材・布等 ②③元々穴があいている用紙やホッチキス針が付いている用紙は必ず取り除いてください。 ④必ず交換してください。
f. カス箱が外れない。	<ul style="list-style-type: none"> ①テーブル・カストレイは正確にセットされていますか？ ②本体が不安定な台の上に設置されていませんか？ (台が柔らかく、本体が沈みこんでいる・段差があり、本体が傾いている等) 	<ul style="list-style-type: none"> ①テーブル・カストレイをセットしなおしてください。 ②本体は水平で安定した、しっかりと台の上に設置してください。 (ご使用前の確認と準備・5ページ参照) 	<ul style="list-style-type: none"> ①②セーフティカバーが最下部迄正確に下がっていないと、カス箱がカバーに引っかかり、外れにくくなります。
g. 穴あけ途中で停止して、作動しなくなった。	★途中で停止して全く作動しなくなった場合は、電源スイッチをOFFにし、お問い合わせになった販売店、またはメーカーまでお問い合わせください。		

MEMO

MEMO

保証について

<保証書>

- 必ず「取扱販売店名、お買い上げ日、製造番号」などの記入もれがないかお確かめになり、よくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証の有効期間は、お買い上げ日から1年間です。

<修理を依頼される時>

- ご使用中に、故障と思われる症状が発生した場合は、取扱説明書9ページの「故障と思う前に」をよくお読みいただき、症状が改善されない場合は、お買い求めになった販売店、または下記までお問い合わせください。

<保証有効期間中の修理について>

- 保証書の無料修理規定にしたがって、修理させていただきます。
お買い求めになった販売店または、下記まで修理をご依頼ください。

<保証有効期間が過ぎてからの修理について>

- お客様のご要望により、修理見積もりおよび修理を有料にてお受けいたします。
- 修理によって製品の機能が維持できないときは、買い替えをお薦めする場合があります。

その他

- 本製品を譲渡、または貸し出しされる場合は、必ずこの取扱説明書を一緒にお渡しください。
- その他のご不明な点については、お買い求めになった販売店、または下記までお問い合わせください。

お問い合わせ・連絡先



株式会社 **ニューコン工業**

〒132-0031

東京都江戸川区中央1-8-15

TEL (03) 3655-6151 (代表)

FAX (03) 3655-6201

URL <http://www.newkon.co.jp/>

E-mail newkon@newkon.co.jp

パーフォレーター

パンチングマシン

シールプレス

PN50E20150205v1.3